

ここにいま

平成29年度西朝明中学校
学校通信 第4号
平成29年5月30日

5月23日付けの第3号で携帯電話・スマートフォンの「ルール」についてお知らせしました。今回は、その続編からです。



三泗地区においては、三泗地区小中学校児童生徒の生徒指導に関する申し合わせ事項検討委員会が生徒指導の詳細について検討し、各小中学校に提示してくれています。基本的には、この申し合わせ事項に基づいて学校での指導が行われるのが通常です。さて、この中で携帯電話・スマホについて言及している所から抜粋してご紹介します。

インターネット端末

- 児童生徒の使用するスマートフォン、携帯電話、携帯ゲーム機、パソコン等について、各家庭で使い方のルールを作り、守らせる。 ←これが、第3号の内容でした。
- 保護者は、児童生徒の使用する端末にフィルタリング機能を設定するよう義務付けられている。⁽¹⁾
- SNSを利用する場合は、マナーやエチケットを守らせ、次のことに留意させる。⁽²⁾
 - ・ 個人情報等（名前、住所、生年月日、学校名、電話番号、メールアドレス、ユーザーIDやパスワード、QRコード、位置情報付写真、顔写真 等）を公開しない。
 - ・ 他人を誹謗したり中傷したりするような発信をしない。
 - ・ 著作権や肖像権に注意する。

註(1) **フィルタリング機能** 子どもにとって有害なサイト（大人向けのサイトや危険性のあるサイト）や違法なサイト、また迷惑メール等を閲覧できないようにする機能。

県条例（フィルタリングの義務化）

第18条の6 インターネット利用環境の整備

保護者等青少年の育成に携わる者は、青少年がインターネットを利用するに当たって、その利用により青少年有害情報を青少年に見せ、読ませ、又は聞かせないように努めるとともに、青少年の青少年有害情報に関する健全な判断能力の育成が図られるよう啓発及び教育に努めなければなりません。

第18条の8 フィルタリングサービス不要申出に係る書面の提出等

保護者は、青少年の携帯電話にフィルタリングを利用しない場合、携帯電話事業者（販売店）に、正当な理由を記載した書面を提出しなければなりません。

註(2) **SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）**

人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のウェブ（Web）サイト。

（裏面は、話題を変えます）



生徒の皆さんが、他の生徒のためであったり、学校のためであったり、という素晴らしい行動を見せてくれることがあります。決して目立つ行為でなく、黙々と地道に取り組んでやり遂げてくれたことは、とても立派なことです。その労をねぎらってあげたいですし、他の生徒にも気づいてほしいと思います。言葉で担任の先生が紹介して、みんなに知ってもらうことは結構、沢山ありますが、その善行が顕著なことであったり、頻繁であったりした場合には、校内で顕彰することにしました。

誰でも普通にきちんと、誠実に取り組んでくれることがねらいです。決してスタンドプレイを求めているわけではありません。ですから、生徒の皆さんや先生方が、「この行いは素晴らしい」「これは他の生徒の範になる」「立派な取り組みが続いている」と評価した場合に検討・協議して表彰したいと思います。

名称は、『せゝらぎ賞』としたいと思います。表彰の文面は、その行いに応じて考えたいと思います。なお、同じ生徒が2回目の顕彰を受ける時は、『山脈（やまなみ）賞』とします。もうお気づきのことと思いますが、本校の校歌の中の支えるものを歌っている箇所歌詞から採りました。

一方、学習に熱心に取り組む生徒も、優れた取り組みは表彰したいと思います。決して優秀な者ばかりが表彰されるということではなく、誰でも根気強く工夫して取り組めば良いと思います。その子なりの努力が明らかな時に、評価してあげられるようにしたいと考えました。そこで、次のように規定したいと思います。

1・2年生の場合

自主学习ノートの学習回数

50回	努力賞
100回	奨励賞
150回	敢闘賞
200回	優秀賞
250回	最優秀賞

1日につき1ページを目安としています。

3年生の場合

学期ごとに厚物学習のそれまでの範囲を100%学習した場合

1回目（1学期末）	努力賞
2回目（2学期末）	奨励賞
3回目（3学期末）	敢闘賞
さらに年間を通じて	優秀賞
2年生から通算して	最優秀賞

1・2年生は、その日のページだけでなく、土・日曜日には、自主学习ノートの巻末を利用すれば、月間30回も無理ではありません。学習の中身や方法は、今まで通り各自の工夫で今、できることの最善の取り組み方をしてください。

3年生は、現在100%未満の人が後日、未習の箇所を学習して提出することができますから、誰でも100%を達成することが可能です。このことを励みにして、入学試験にある科目の全領域をまんべんなく、学習してくれることを期待しています。

なお、努力賞・奨励賞・敢闘賞は校長室で、せゝらぎ賞・山脈賞・優秀賞・最優秀賞は体育館で全校生徒の前で表彰します。